

奈良女子大学日本史談話会第1回例会

改めて邪馬台国の位置を問う

昨年から今年にかけて、我々のまわりでは2冊のいわゆる「邪馬台国本」が出版されました。1冊は九州論者・若井敏明の『邪馬台国の滅亡』(吉川弘文館)であり、もう1冊は、畿内論者小路田泰直の『邪馬台国と「鉄の道」』(洋泉社)です。そして、一見畿内説で決まりかと思われる状況の中でも、邪馬台国論争にはまだまだ語り尽くされていない論点がたくさんあることが明らかになってきました。そこで、改めて、邪馬台国の位置について、肩から力を抜いて語り合ってみたいと思い、ミニシンポジウムを企画しました。邪馬台国論争にご興味のおありの方、ご参集いただければ幸いです。

話題提供

若井敏明 (関西大学)

小路田泰直 (奈良女子大学)

司会

西村さとみ

日時 2011年5月13日(金) 午後6時~8時

場所 奈良女子大学文学部南棟S128教室 (正門を入りすぐ左側の建物の1階東北の隅)

入場は無料です

主催 奈良女子大学日本史談話会

連絡先 奈良女子大学文学部小路田研究室気付 (0742 - 20 - 3311)